



SDGs 全国フォーラム 2022 滋賀・びわ湖



登録番号：13

企業

三井住友信託銀行

京都・京都四条支店
大津支店



社会活動・コミュニティ活動への参画の意義

三井住友トラスト・グループでは、グループおよび三井住友信託銀行を含むグループ各社の営業拠点が所属するコミュニティに対し、SDGsの視点も取り入れながらさまざまな社会貢献・地域貢献の取り組みを行っています。こうした価値提供は事業基盤を健全に維持することにつながることから、事業を行う上で必要な社会的ライセンスであるという見方もできます。

三井住友トラスト・グループとしての活動

- UWC ISAKサマースクールの参加生徒への支援
- ESDプロジェクト
- ナショナル・トラスト支援活動

SDGs課題への貢献

社会的ライセンス

三井住友信託銀行の活動

- 全国の営業店舗におけるWith You活動

SDGs課題への貢献

社会的ライセンス

グループ各社の活動

- 各社がテーマを選定し積極的に推進

SDGs課題への貢献

社会的ライセンス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



三井住友信託銀行



これまでのESDプロジェクト



生物多様性アクション大賞2015(国連生物多様性の10年(UNDB-10)主催)において入賞しました!



これまでのESDプロジェクトの概要は、こちらのQRコードからご覧いただけます。



※研修会の様子は「動画でみるESD」よりご覧いただけます。
<https://www.smb.jp/about/sustainability/esd>

三井住友トラスト・グループでは、「コミュニティへの価値提供は事業を行う上で必要な社会的ライセンスである」という考えのもと、グループ各社の営業拠点が所属するコミュニティに対し、SDGsの視点を取り入れた社会貢献・地域貢献に取り組んでいます。SDGsを事業そのものとして展開し、事業基盤を健全に維持し続けることができよう、今後もこの取り組みを強化していく方針です。
ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育で、三井住友信託銀行の取り組みについて紹介します。

2012年 11月 和歌山県 田辺市立田辺第三小学校 天神崎の自然と生物多様性	2013年 9月 神奈川県 三浦市立岬陽小学校 アカテガニの暮らす小網代の森	2014年 9月 岡山県 岡山市立角山小学校 岡山の水源を考える	2015年 1月 神奈川県 鎌倉市立七里ヶ浜小学校 ナショナル・トラスト発祥の地御谷の森に学ぶ	2015年 6月 大阪府 八尾市立中高安小学校 ニッポンバラタナゴの暮らす尾市の自然	2016年 1月 福井県 福井市立西小学校 中池見湿地に学ぶ
2016年 7月 愛知県 愛知県立木曾川高等学校 絶滅危惧種イタセンバラから考える地域の暮らしと未来	2017年 2月 千葉県 千葉県立船橋芝山高等学校 芝山湿地から考える“いのちのつながり”	2017年 7月 新潟県 新潟市立赤塚中学校 ラムサール条約登録湿地佐湯から考える自然と共生する地域づくり	2018年 2月 滋賀県 滋賀県立守山中学校・高等学校 水源の森 琵琶湖とSDGsの視点から考える地域と暮らし	2018年 8月 茨城県 私立江戸川学園取手高等学校 日本の森林から持続可能な社会/SDGsを考える	2019年 3月 北海道 サステナブルローカルハイスクール in 札幌 SDGsと観光から考える持続可能なまち札幌
2019年 8月 神奈川県 神奈川県立高校・中学校教職員先生のためのSDGs講習会	2019年 11月 富山県 富山県立砺波高等学校 ライフプラン×SDGs	2020年 8月 愛知県 愛知県内の小中高の教職員ESD推進指導者研修会	2021年 3月 佐賀県 学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校 SDGsスペシャリストとのオンライン対談	2021年 9・10月 福岡県 学校法人鎮西敬愛学園敬愛小学校 地球と私たちの10年後を想像したSDGs授業	2021年 10・11月 石川県 金沢市立高岡中学校 未来のまちづくりの担い手を育むキャリア教育



SDGs 全国フォーラム 2022 滋賀・びわ湖



登録番号：13

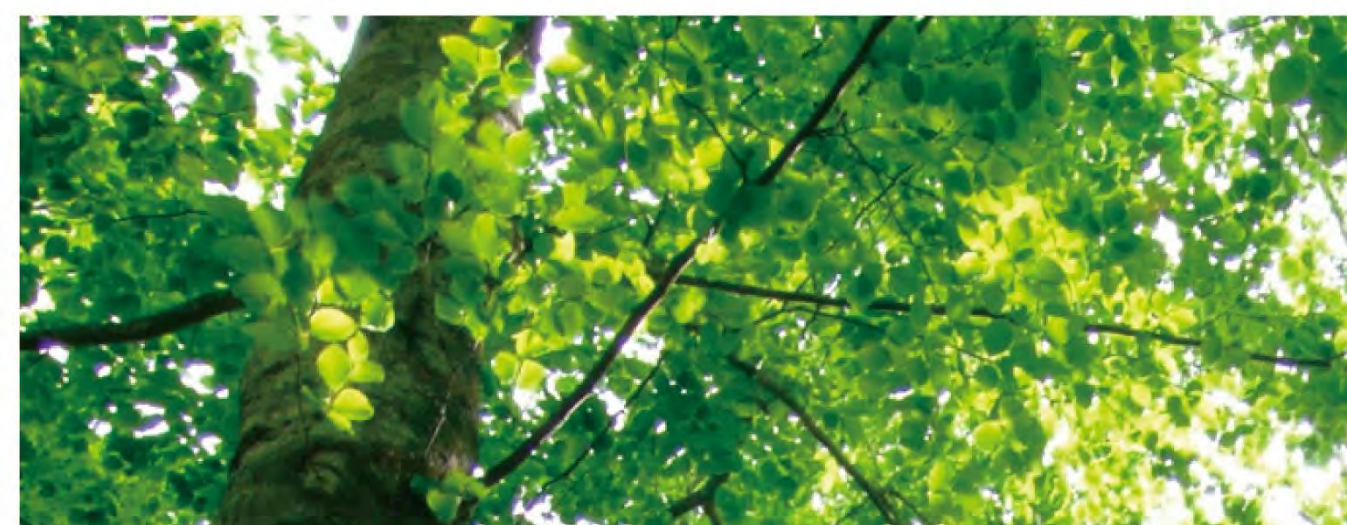
企業

三井住友信託銀行

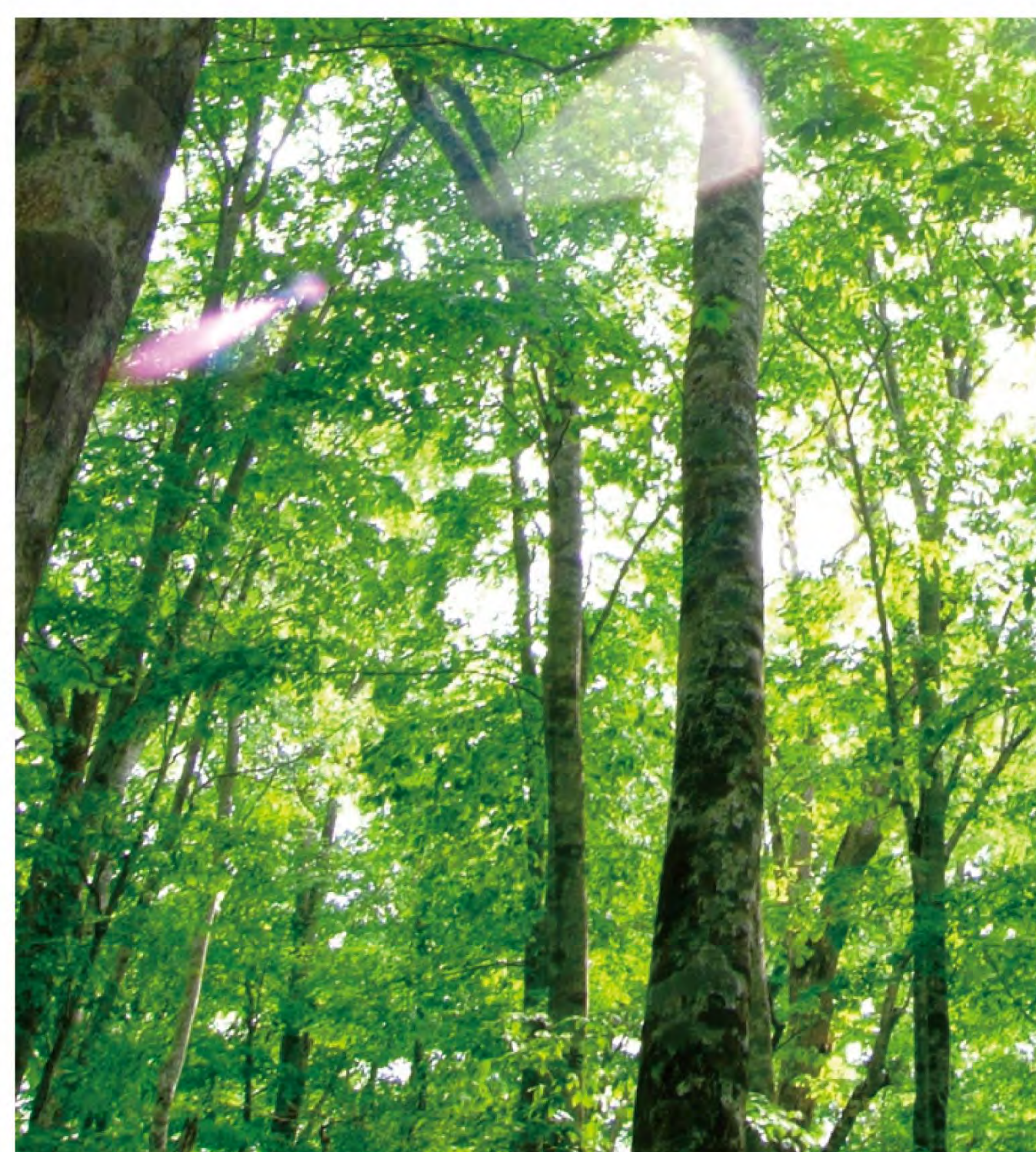
京都・京都四条支店
大津支店



三井住友信託銀行

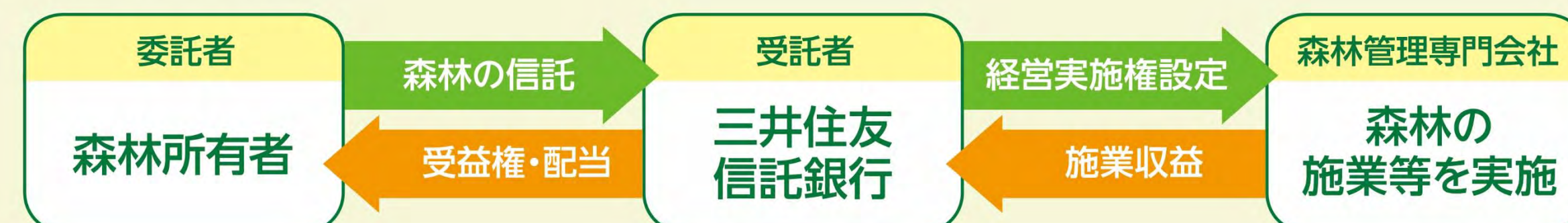


森林・林業再生への 取り組みを通じた 地域課題解決



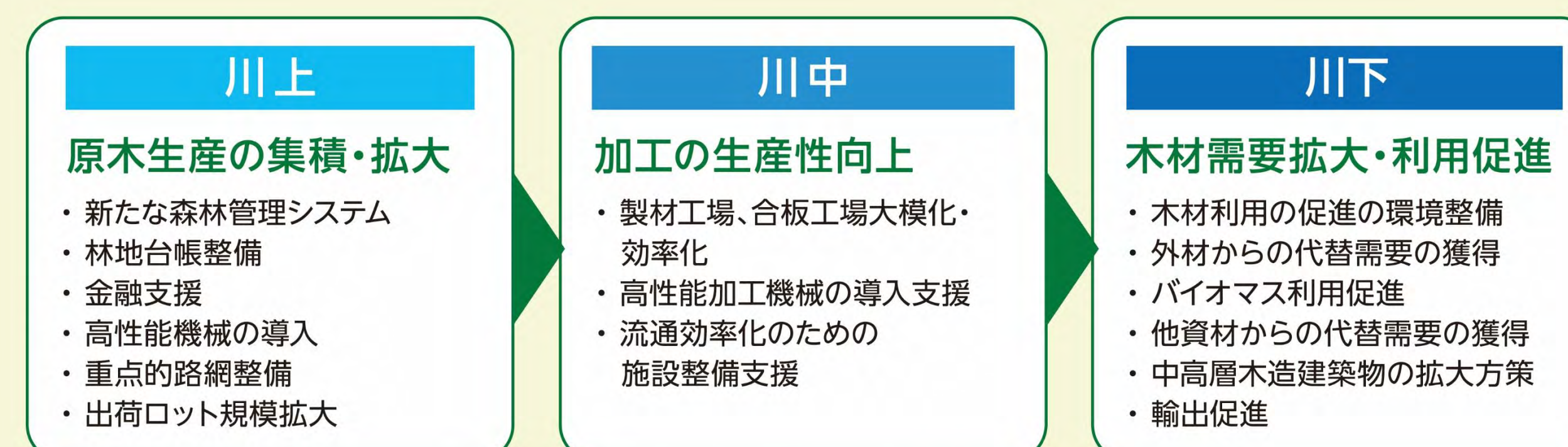
森林信託のしくみ

2020年8月に本邦初の商事信託として、岡山県西粟倉村に森林を所有する個人のお客さま（以下、所有者）より、約10haの森林を信託財産とする「森林信託」を受託しました。三井住友信託銀行は所有者に代わって林業事業者への経営の委託、収入の管理を行い、信託配当を行います。施業を行う林業事業者は、複数の森林をまとめることで林業経営の効率化が図れるとともに、相続等により土地所有者が分からなくなる事態も防ぐことができます。



スマート精密林業への取り組み

林業の更なる生産性向上のため、信州大学等と連携し、ドローンやICTを活用したスマート精密林業の実現を支援しています。また、林業再生に向け、川上だけでなく、川中、川下のそれぞれで効率化・高付加価値化を進めるため、関係者と連携し、サプライチェーン全体の活性化にも取り組んでいます。



ICTによるスマート精密林業化

「建築物等における北山杉の利用促進協定」の締結



北山杉の利活用者グループと生産者グループは、北山杉の積極的な活用と安定供給に関し、相互連携と協働による活動を推進することで、北山林業の持続的な発展を図るとともに、SDGsや2050年カーボンニュートラルの実現等へ貢献していくため、京都市と協定を締結。



建築物等における北山杉の利用促進協定 協定締結日：令和4年8月23日 / 対象区域：全国

利活用者グループの北山杉の利用促進構想

・北山杉を積極的に活用することで、北山林業に係る技術や文化の継承、地域振興、SDGsや2050年カーボンニュートラルの実現等に寄与する。

利活用者グループの構想の達成に向けた取組の内容

・北山杉の魅力向上に資する可能性のある事業において、北山杉の利用を積極的に検討、又は利用するよう努める。
・北山杉の利用促進に向けた魅力発信や普及啓発、北山杉の新用途の開拓や新製品の研究開発、北山杉の生産地の確保等のための商事信託等の方策の検討等に取り組む。

生産者グループの北山杉の利用促進構想

・北山杉の安定供給等の協力をし、森林資源の循環利用、SDGsや2050年カーボンニュートラルの実現等に寄与する。

生産者グループの構想の達成に向けた取組の内容

・利活用者の建築物等の整備に備えて北山杉の供給体制を整え、求められる品質や量の供給を適時に行うよう努める。

構想の達成のための京都市による支援

・技術的助言や補助制度等の情報提供、取組の広報等を通じて、積極的に支援する。木の文化推進に関する政策等の情報提供等を行う。